

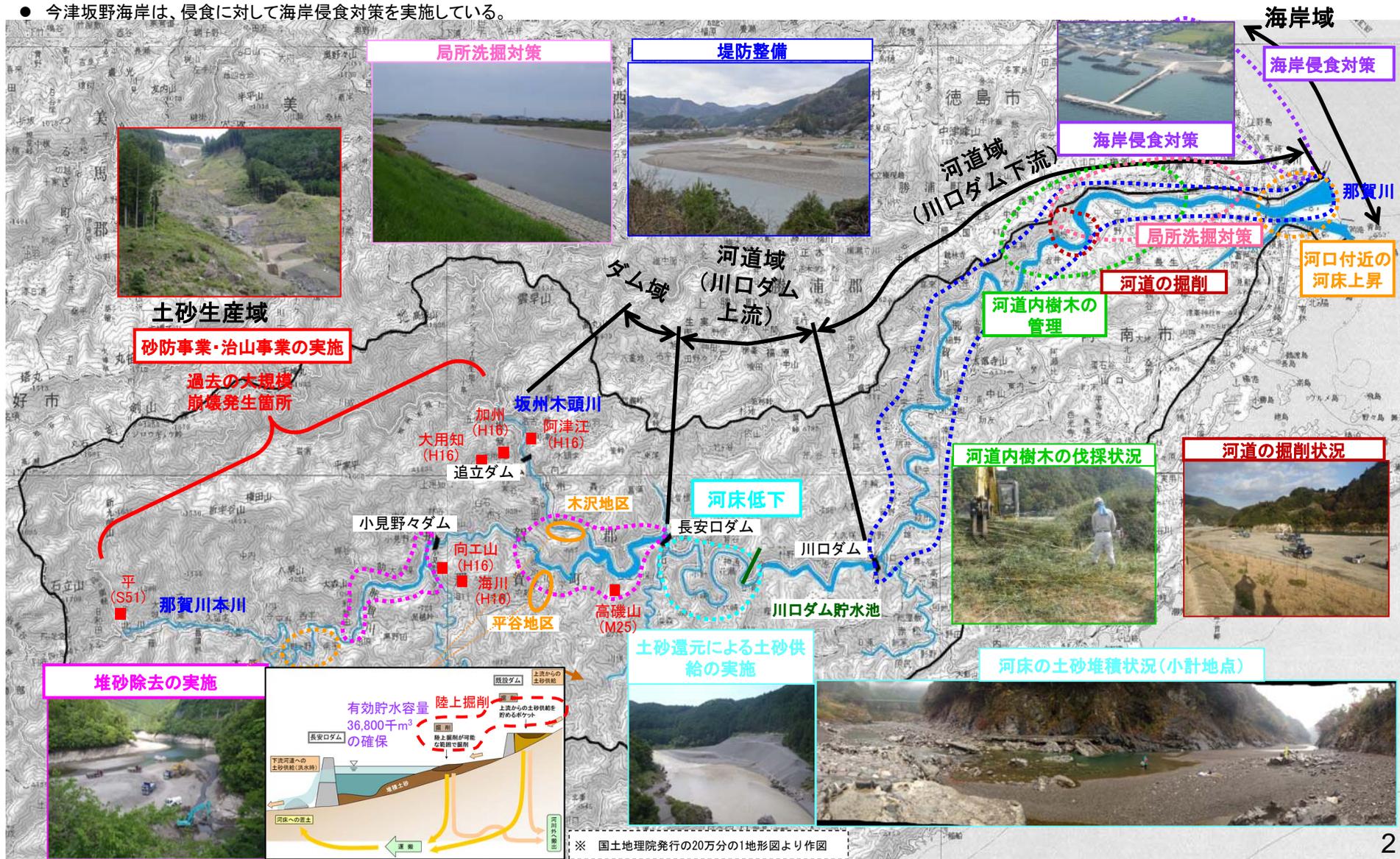
那賀川流砂系における 総合土砂管理の取り組み方針

平成28年2月26日

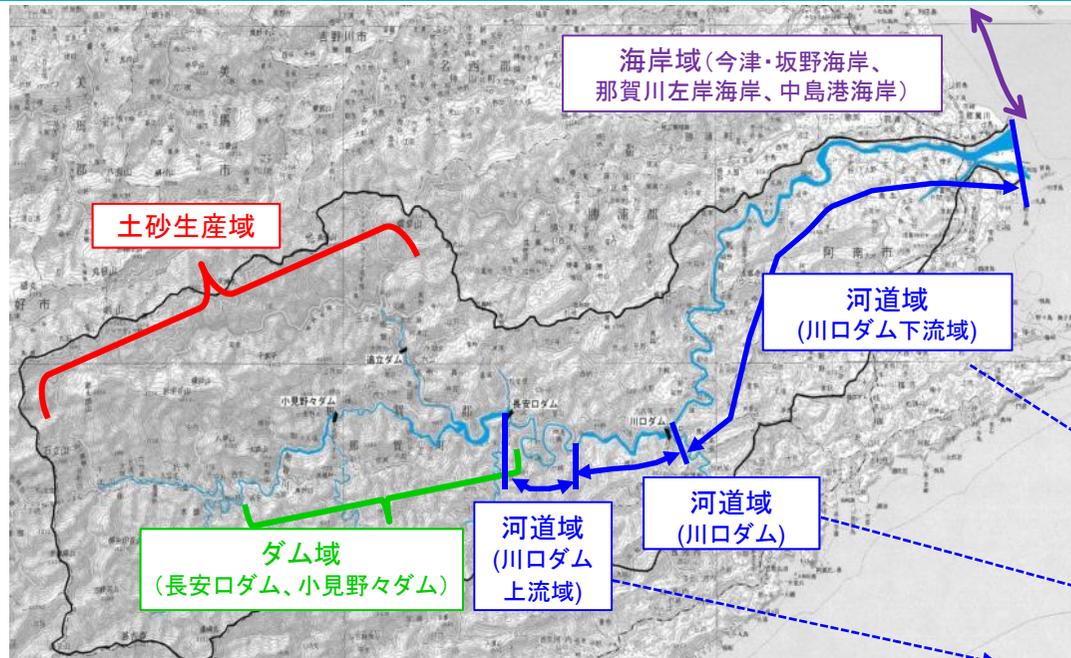
那賀川流砂系の現状

■ 那賀川流砂系の現状

- 土砂生産域では、大規模土砂災害の発生に対して砂防事業・治山事業を実施。
- ダム域では、ダム堆砂の進行に対して堆砂除去を実施。
- ダム下流の河床低下に対しては、長安口ダム下流に堆砂土砂の還元を行い、土砂供給を実施。川口ダム下流の河道では、局所洗掘、局所土砂堆積、滞筋固定化等に対して堤防整備、局所洗掘防止対策。十八女大橋から下流の河道では、局所的な土砂堆積に対しては河道の掘削等を実施し、河道の樹林化に対して河道内樹木の伐採対策等を実施している。
- 今津坂野海岸は、侵食に対して海岸侵食対策を実施している。



那賀川流砂系における総合土砂管理の取り組み方針



対策状況

- ・海岸侵食対策事業（大型突堤、養浜工、緩傾斜護岸工等）



緩傾斜護岸工



大規模突堤

課題

- ・現在実施中の海岸侵食対策事業の完成に加えて、土砂供給量の回復も併せて必要。
- ・土砂還元による土砂供給対策では、海岸域へ土砂が供給されるには長期間がかかる。

取り組み

- ・現在実施中の海岸侵食対策事業を継続的に実施。
- ・将来の河川からの土砂供給量回復に向けて、海岸域における土砂動態の把握に努める

対策状況

- ・砂防事業（土石流対策）
- ・治山事業（森林機能強化、地すべり防止事業）



那賀川流域の砂防施設

- ・長安ロダム改造事業による堆砂対策（陸上掘削・ダンプ運搬・土砂還元）
- ・小見野々ダムにおける堆砂除去



長安ロダム改造事業における堆砂掘削状況（平谷箇所）

- ・長安ロダム改造事業による土砂還元



置土の状況（小計箇所）

- ・堤防整備の実施（徳島県管理区間和食地区）
- ・堤防整備の計画・実施（直轄管理区間 持井・深瀬・加茂地区）
- ・樹木伐採、内水氾濫対策、局所洗掘対策、河道の掘削、堤防漏水対策等



樹木伐採状況（楠根）

課題

- ・対策範囲が広いことから、土砂災害対策および森林機能保全を目的とした事業の継続的な実施が必要。
- ・土砂流出抑制対策の実施には長期間が必要となり、緊急的な実施は困難。

- ・長安ロダムでは、陸上掘削の対策可能範囲、ダンプ運搬コスト及び運搬経路の制約等から対策量の増加が困難。
- ・小見野々ダムでは、骨材利用量の減少、山地処理場の確保がネックとなり対策量の増加が困難。
- ・大規模土砂流出時の堆砂が洪水調節容量に堆積し長安ロダムの治水機能に影響を及ぼす可能性がある。

- ・土砂還元により、河道の変化が進行。
- ・将来、環境が改善される川口ダム下流の状況把握に資するため、詳細なモニタリングが必要。

今後の土砂供給による状況変化を踏まえ、川口ダムの貯水池機能の保全に配慮が必要。

現状では、粗粒化・露岩化した河床状況であり、今後の土砂供給による状況変化を踏まえ、治水面・河川利用面・環境面への配慮が必要である。

取り組み

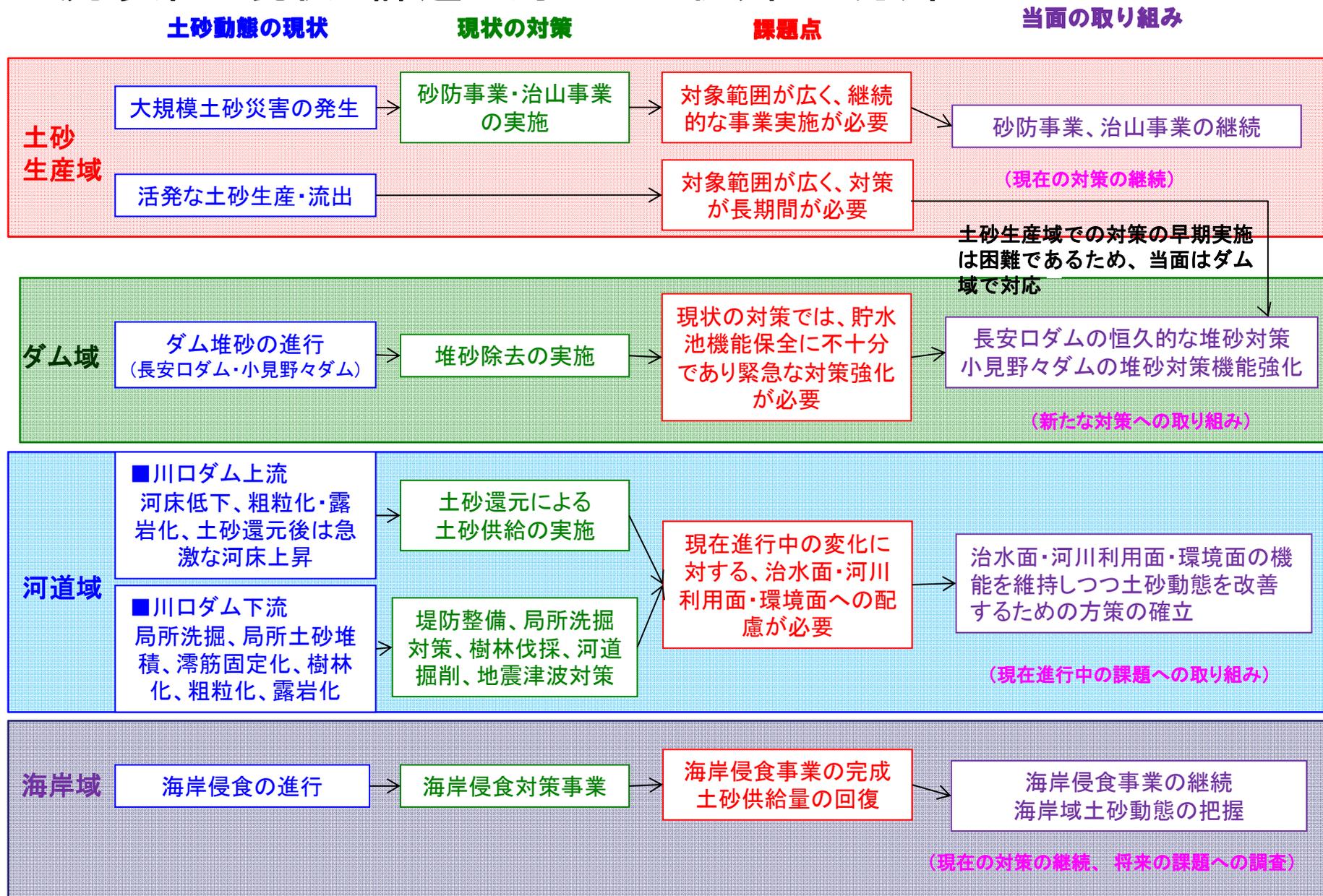
当面は、砂防事業による土石流対策、治山事業による森林機能強化、地すべり対策事業を継続的に実施

長安ロダムにおける恒久的堆砂対策の実現、小見野々ダムの堆砂対策機能の強化に取り組み、貯水池機能保全を図る。

下流河道の変化状況のモニタリング調査を継続的に実施するとともに、今後の河道の変化について検討した上で、治水面・河川利用面・環境面の機能を維持しつつ土砂動態を改善するための方策の確立に取り組む。

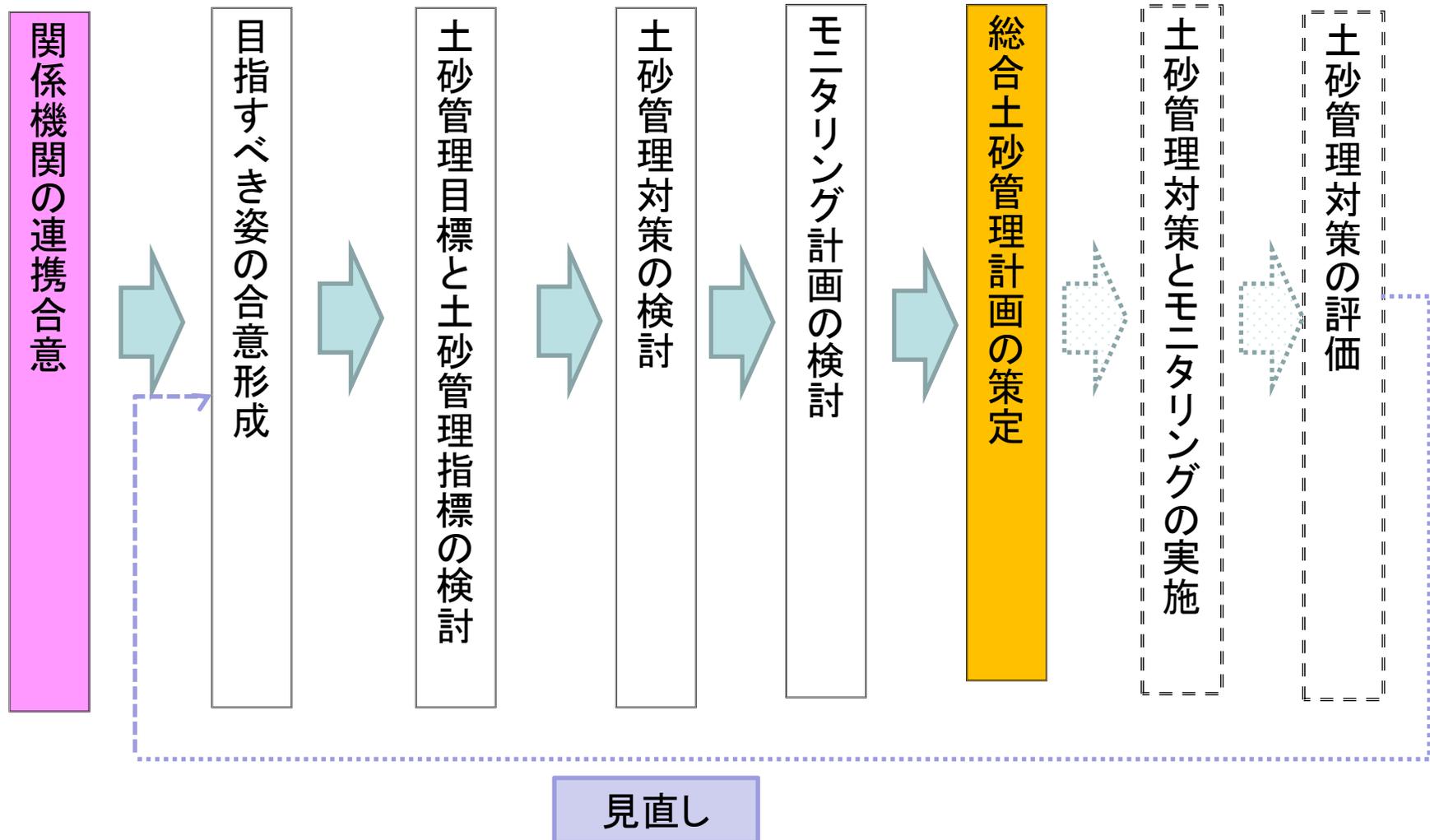
那賀川流砂系における総合土砂管理の取り組み方針

■ 流砂系の現状と課題に対応した取り組み方針



那賀川流砂系における総合土砂管理の取り組み方針

○今後の検討の流れ



- 一般的な総合土砂管理計画策定の検討項目を示す
- 検討項目は併行して実施する場合がある